



Pack  
14

# Ferrari

## 250 GTO





# Ferrari

## 250 GTO

### 組み立てガイド

<b>STAGE 53</b>	ボンネットロックシステム	P.209
<b>STAGE 54</b>	ボンネットロックシステム ②	P.213
<b>STAGE 55</b>	左フロントサスペンション	P.217
<b>STAGE 56</b>	左フロントサスペンション ②	P.221





# ボンネットロックシステム

ボンネットロックシステムを、2回にわたってボディの左右に取り付けていく。  
左側から始めよう。

53-1



53-2



53-3



ネジ1×2



53-4



53-5



## パーツリスト

53-1 ラッチレシーバー

53-2 スプリング

53-3 ラッチ

53-4 ストラップ

53-5 バックル

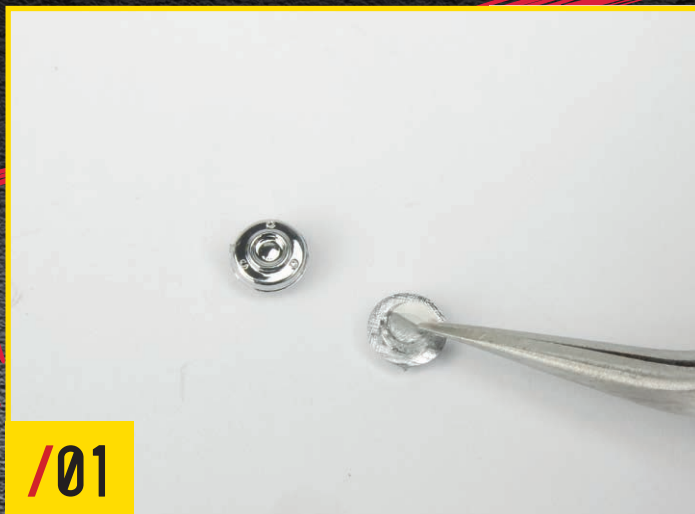
## ネジ類

ネジ1 (M1.7×5mm) ×2本 (1本は予備)

**ヒント** ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったならネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミネラルオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

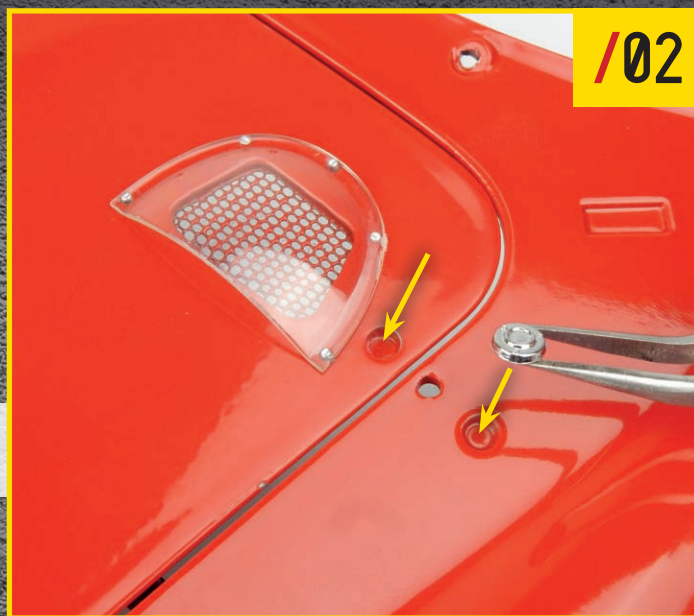


## STAGE 53

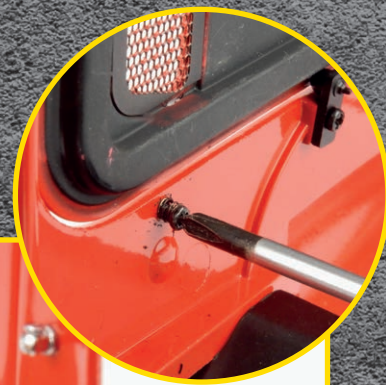


ボディのフロント左側にある穴に、写真のような向きでラッチレシーバー2つを挿入する。

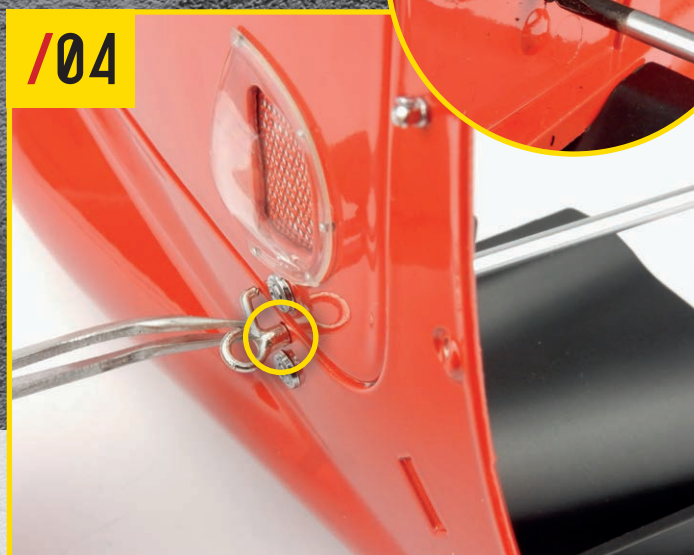
53-1 (ラッチレシーバー) は2つとも裏側からシールをはがす。



53-2 (スプリング) をネジIにはめる。



53-3 (ラッチ) を、2つのラッチレシーバーの間にある穴に挿入する。スプリング付きネジIをボディ裏側にある穴に差し込み、1mm程度の間隙が空くように固定する。







/05



写真で向きを確かめながら、53-4 (ストラップ) を53-5 (バックル) にはめる。



バックルの裏からシールをはがす。

/06



/07



バックル下部をボディ左側のへこんだ部分に置く。

ストラップ裏のシールをはがす。

/08







ストラップをボンネットに貼り付ける。左右の取り付けができたなら、ストラップをバックルから外し、ラッチを回してボンネットを開けることができる。



**STAGE 5** の完成

ボンネットのロックシステムの初回はここまで。



## ボンネットロックシステム ②

今回は、ボンネットロックシステムをボディ右側に取り付ける。



### パーツリスト

- 54-1 ラッチレシーバー
- 54-2 スプリング
- 54-3 ラッチ
- 54-4 バックル
- 54-5 ストラップ

### ネジ類

ネジ1 (M1.7×5mm) ×2本 (1本は予備)

**ヒント** ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったらネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミネオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。



## STAGE 54



/01

ボディのフロント左側にある穴に、写真のような向きでラッチレシーバー2つを挿入する。

4-1 (ラッチレシーバー) は2つとも裏側からシールをはがす。



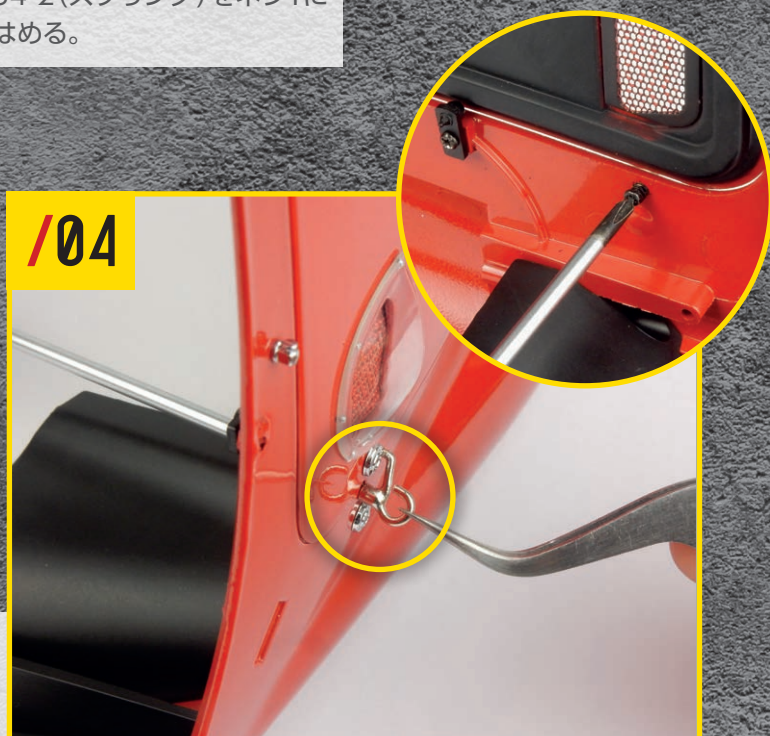
/02



/03

54-2 (スプリング) をネジ1にはめる。

54-3 (ラッチ) を、2つのラッチレシーバーの間にある穴に挿入する。スプリング付きネジ1をボディ裏側にある穴に差し込み、1mm程度の隙間が空くように固定する。

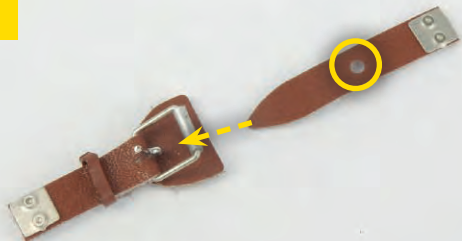


/04





/05



写真で向きを確かめながら、54-5 (ストラップ) を54-4 (バックル) にはめる。

バックルの裏からシールをはがす。

/06



バックル下部をボディ右側のへこんだ部分に置く。

/07



ストラップ裏のシールをはがす。

/08



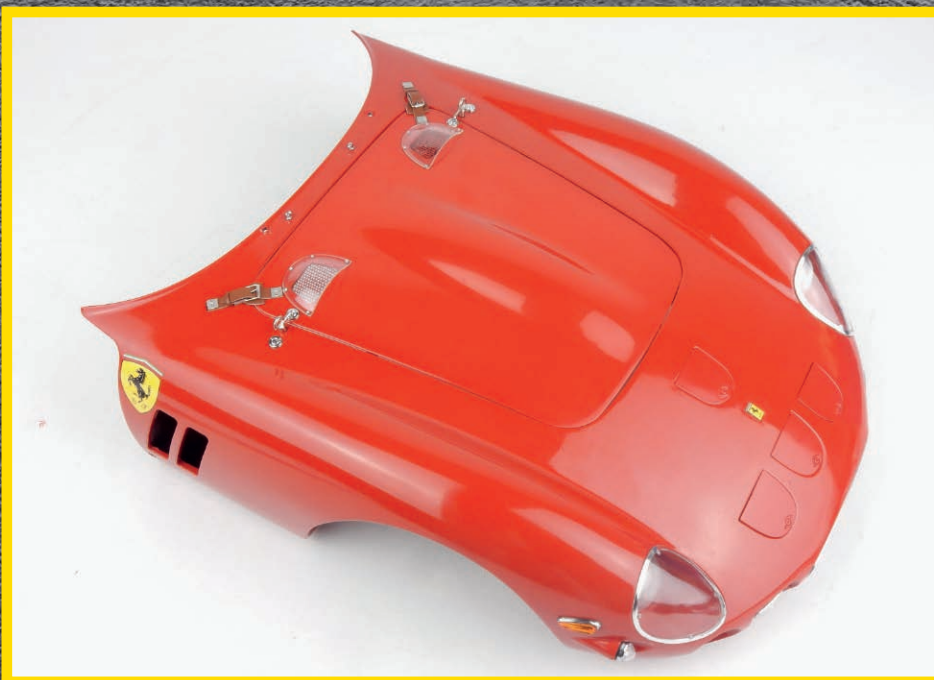




/09



ストラップをボンネットに貼り付ける。



**STAGE 54** の完成

ボンネットロックシステムが完成した。バックルからストラップを外しラッチを回転させれば、ボンネットを開けてエンジン部分を見ることが出来る。



## 左フロントサスペンション

左フロントサスペンションを、2回にわたって組み立てていく。

55-1



55-2



55-3



ネジC×2



ネジJ×2



## パーツリスト

55-1 スタブアクスル

55-2 アッパーアーム

55-3 ショックアブソーバー

## ネジ類

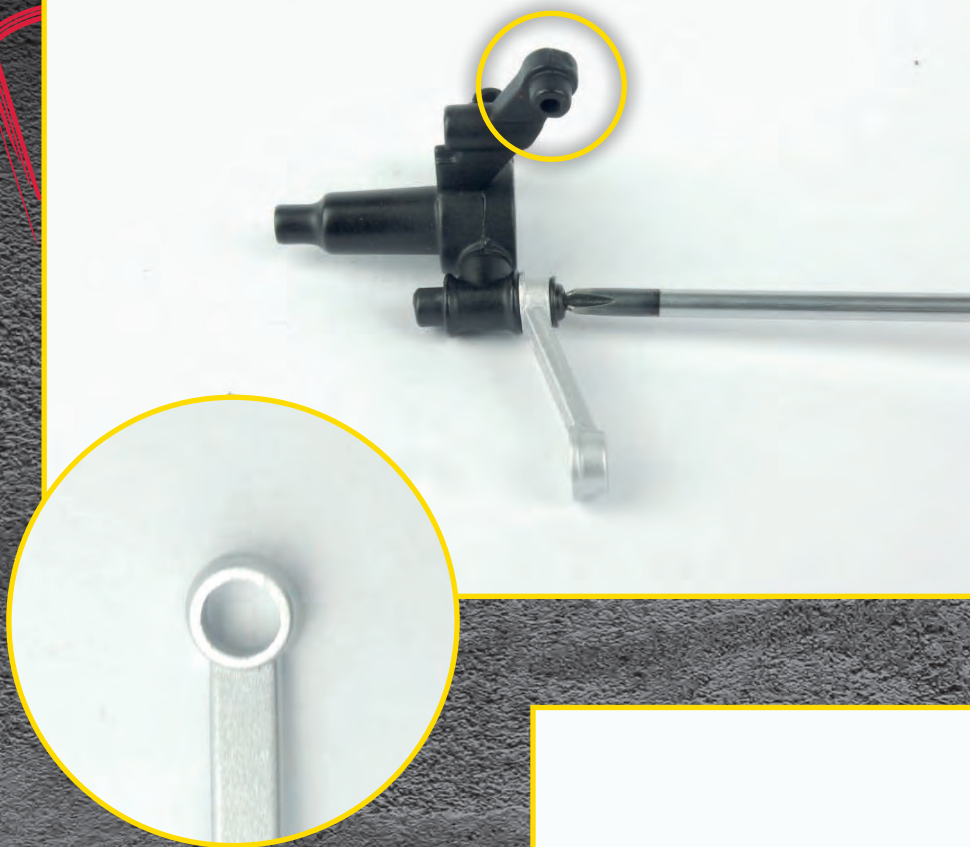
ネジC (M2.3×4mm) ×2本 (1本は予備)

ネジJ (M2.3×4mm) ×2本 (1本は予備)

**ヒント** ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったならネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミネオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。



/01



55-2(アッパーアーム)の1つを55-1(スタブアクスル)に取り付ける。写真で向きを確認しよう。アーム両端にある穴の大きさはそれぞれ異なるので注意。ここでは穴が大きい方の端をネジJで固定する。

/02



もう一つの55-2(アッパーアーム)をスタブアクスルに取り付ける。写真のような向きになっているか確認する。





/03



55-3(ショックアブソーバー)を取り付ける。写真のような向きに、ネジCで固定する。





**STAGE 55** の完成

今回の作業で仕上がった左フロントサスペンション。次回に完成させよう。



## 左フロントサスペンション ②

左フロントサスペンションの組み立てを続けよう。

56-1



56-2



56-3



ネジB×5



ネジC×2



56-4



56-5



56-6



ネジJ×3



## パーツリスト

56-1 コネクティングマウント

56-2 スプリング

56-3 キャップ

56-4 ロアアームA

56-5 ロアアームB

56-6 フォークブラケット

## ネジ類

ネジB (P2.3×5mm) ×5本 (1本は予備)

ネジC (M2.3×4mm) ×2本 (1本は予備)

ネジJ (M2.3×4mm) ×3本 (1本は予備)

**ヒント** ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったならネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミネラルオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

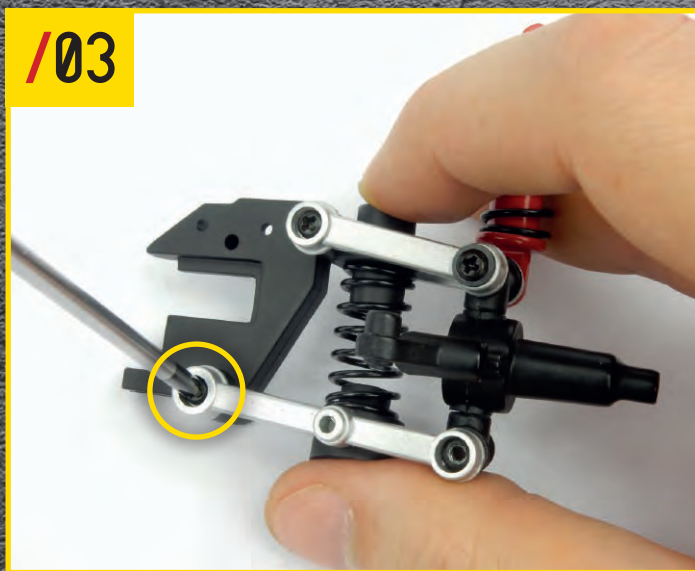


## STAGE 56



**STAGE 56** で作成したサスペンションと56-1(コネクティングマウント)を用意する。写真のように向きをそろえて、2本のネジBで両側から固定する。

56-2(スプリング)の一端をマウントの中央スタッドに通す。さらに、56-3(キャップ)をスプリングのもう一端に押し込む。

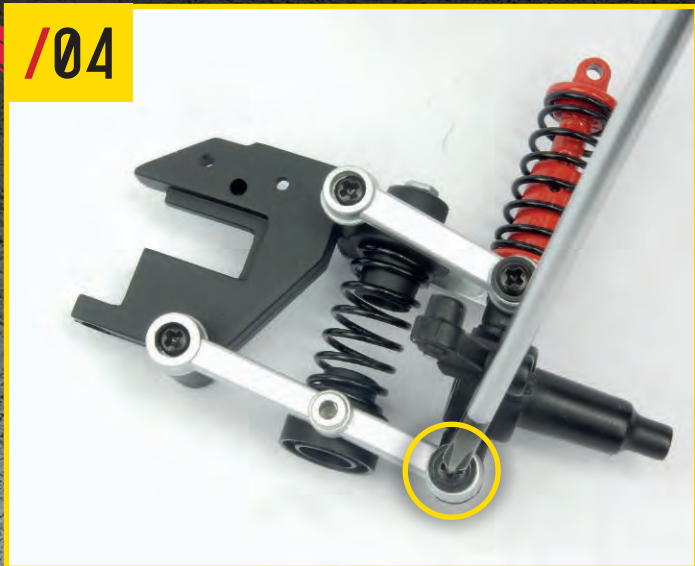


56-4(ロアアームA:中央に穴が開いている)を、写真のような向きに接続する。アームの長い方の端はマウントに、短い方の端はスタブアクスルに取り付ける。まず、ネジBでマウントに固定する。





/04



次に、ネジJでアームをスタブアクスルに固定する。

アーム中央の穴が、キャップ横の穴に入っているか確認する。56-6(フォークブラケット)をアーム中央の穴に合わせて配置したうえで、ネジCで固定する。

/05



/06



裏返して、56-5(ロアアームB:中央に穴がない)をはめ込む。アームの長い方の端がマウントに、短い端がスタブアクスルに向かうようにする。アーム中央にあるスタッドをキャップ裏側の穴に挿入し、写真のようにネジBでマウントに固定する。





/07

ネジでアームをスタブアクスルに固定する



**STAGE 08** の完成

左フロントサスペンションの組み立てが終了した。次の組み立て作業まで大切に保管しておこう。